

しかおい

議会だより

第112号



平成22年度決算
町の家計簿

■2011年10月25日発行

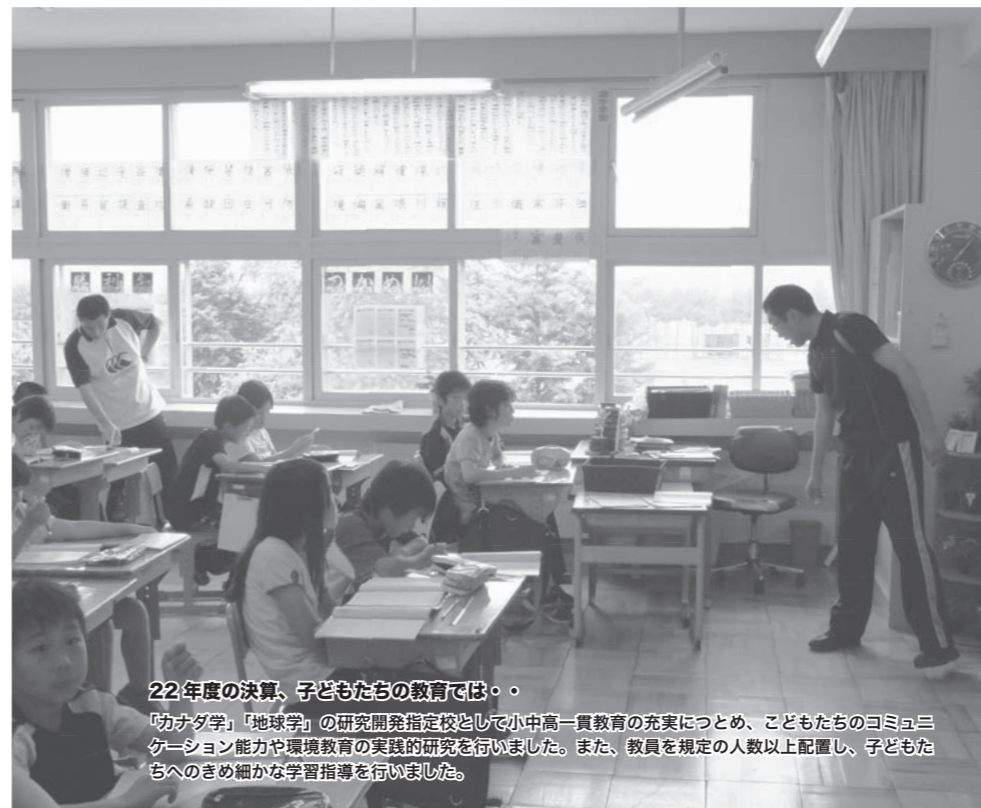
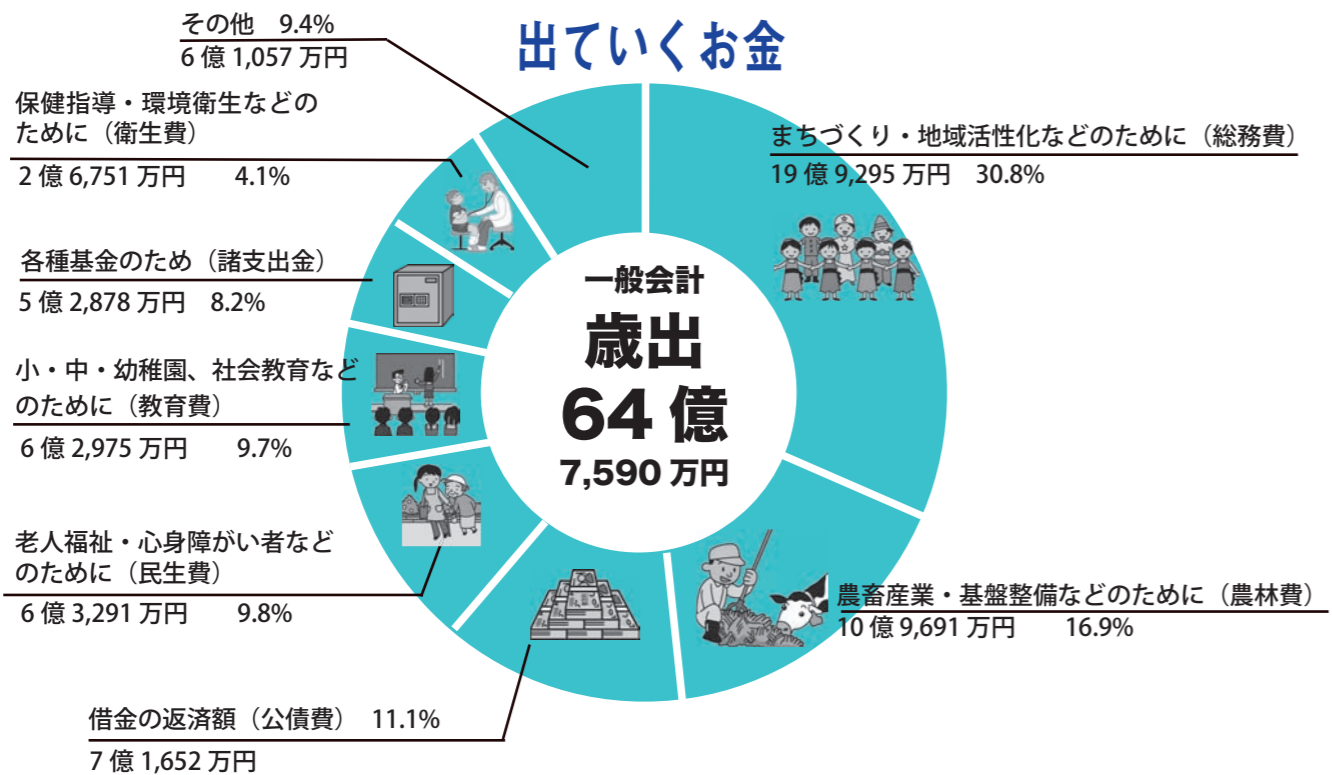
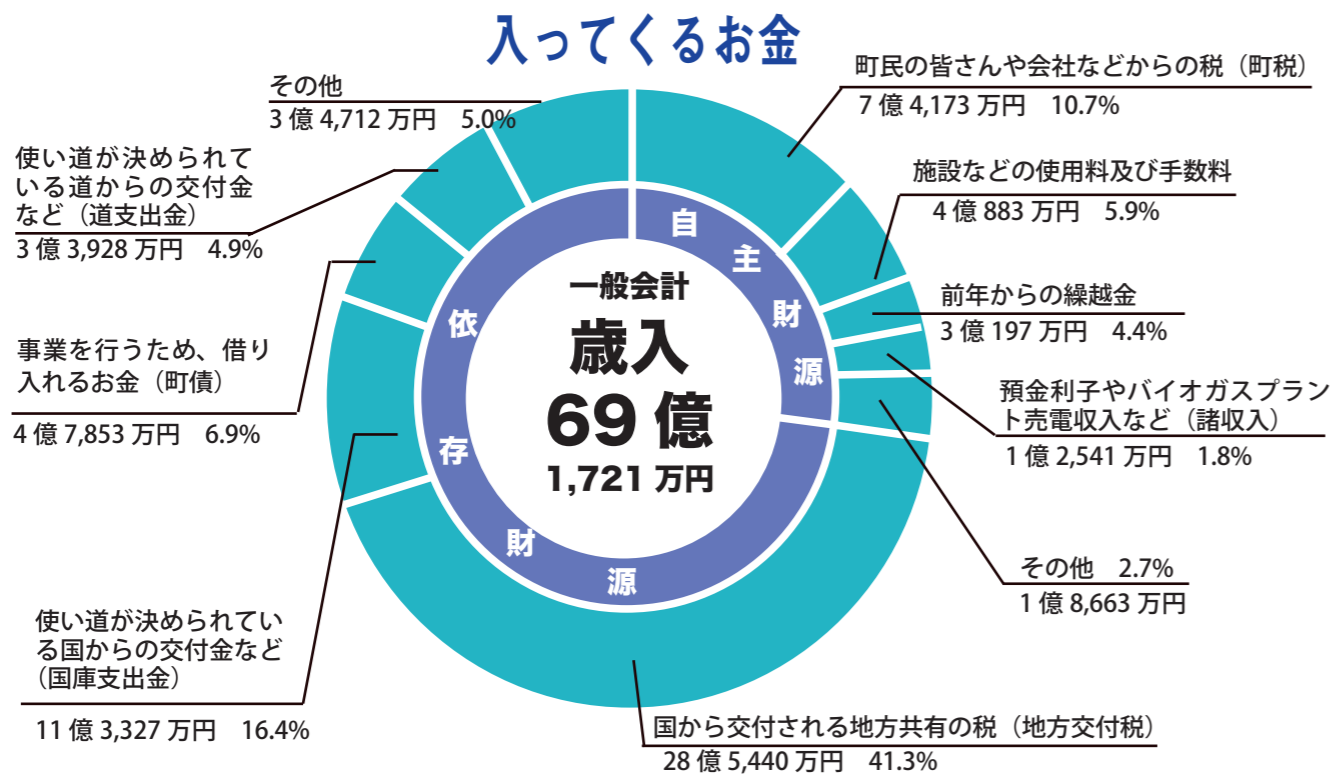
■発行者 北海道鹿追町議会

鹿追幼稚園のこどもこしパレード。
沿道の声援をうけ、元気に「わっしょい」
のほすが、後半疲れ気味？

【E-mail】 gikai@town.shikaoui.hokkaido.jp

【URL】 <http://www.town.shikaoui.hokkaido.jp>

効果的な運用で収支残が増



22年度の決算、子どもたちの教育では、「カナダ学」「地球学」の研究開発指定校として小中高一貫教育の充実につとめ、子どもたちのコミュニケーション能力や環境教育の実践的研究を行いました。また、教員を規定の人数以上配置し、子どもたちへのきめ細かな学習指導を行いました。

3億7千492万円の収支残

第3回9月定例会は、9月6日から27日まで22日間の会期で行われ、地域振興対策などの補正予算9件、条例改正4件、請願など原案どおり全会一致で可決しました。

また、平成22年度の各会計決算も全会一致で認定しました。

ナイター議会 で決算の審議

平成22年度各会計決算について、9月20日決算審査特別委員会（川染洋委員長）で審議されました。昼間の審議に引き続き、午

後6時からナイター議会として審議を再開。水害対策、花と芝生のまちづくり、町の道路整備の状況などの質問がされ、各会計とも効果的な運用であったことを認めました。

22年度決算は、対前年比でみると歳入では子育て、雇用対策地域資源活用などの地方交付税や国庫補助金の増があり、歳出では普通建設事業などの投資的な経費の減少があり、最終的に3億7千492万円の大幅な収支残となりました。

一般会計の残額
平成22年度の収入と支出の差額
3億7,492万円

〈残額の内訳〉

法律で定められて基金に積み立てる分	2億円
翌年に繰り越される分	1億7,492万円



クローズアップ2010 決算

総務費
無線ブロードバンド整備
8998万円

国の交付金を用いて無線ブロードバンド方式による高速無線通信網を整備し、農村地域においても快適なインターネット接続サービスを提供しました。



農家地区の無線アンテナ

総務費
開町90年記念事業
470万円

大正10年4月、現在の音更町から分村して90年の記念の年にあたることから、記念事業として記念式典、町民花火大会・音楽祭、札幌交響楽団コンサート、記念講演会等の事業を実施しました。

農林費
環境保全センター研修棟整備
5859万円

稼働4年目となる環境保全センターでは、多くの視察者や修学旅行等の来客に対応するため、森林事業の補助を活用し、約90人収容できる研修棟を整備しました。



研修に訪れた杉並区議会議員

総務費
戸籍事務の電算化・パスポート発券
596万円

平成22年6月から戸籍事務を電算化、8月からはパスポートの発券業務を開始し、住民サービスの向上に努めています。



電算化された戸籍事務

衛生費
子宮頸がんワクチン等全額助成
511万円

町内に在住する小学5年生から高校3年生相当の女子全員を対象とした子宮頸がんワクチンの接種費用を全額公費負担として実施しました。対象者のうち84%が接種しました。

教育費
学校の耐震化と太陽光発電
2億2690万円

瓜幕小学校と鹿追中学校の耐震改修と太陽光発電施設を設置し、子どもたちが安心して教育が受けられることができる施設整備と環境意識の向上に努めました。



鹿追中学校と敷地内の太陽光パネル

民生費
病院と一体となった高齢者住宅
4904万円

平成21年度に着手した医療機関連携型自立支援センター及び高齢者専用住宅が完成。住宅は病院に隣接し、高齢者の安全かつ快適な在宅生活を支援します。



病院と一体となった高齢者住宅

監査の意見



野村英雄代表監査委員

良好な財政状況と判断。

町の一般会計の財政状況は、歳出の減少額が大きく、大幅

な繰越金となりました。決算全体で見ると自主財源32億円で依存財源が61億円と、依存度が極めて高い推移となっております。

一般会計の状況を見ても、依存度はさらに上昇していますが、経常収支比率では70.7%で前年より3ポイント改善され、公債費比率は6.9%と前年比0.4%低くなっています。

また、実質公債費比率も8.2%で0.8%減、将来負担比率においても14.9%で32%の減であり財政の現状は比較的良好に推移していると判断します。

しかし、国や道への依存度は、今年3・11の東日本大震災の影響で財政発動の縮小の兆しがあり、町の財政事情が一段と厳しさを増してくるの

は極めて明白です。このような現実をしっかりと踏まえ、今後の10年間を計画した「第6期鹿追町総合計画」に沿った町づくりを住民とともに進め、しっかりと町政の舵取りを切望するものです。



The 決算・質疑

9月20日に開催された決算審査特別委員会（川染洋委員長）で平成22年度の決算を審査、すべて原案どおり全会一致で認定しました。20日は午前9時30分からとナイター議会（18:00～19:30）で開催されました。

土木費



道路の整備。

Q 道路わきで柳の木が生い茂り、道路に枝がたれている状況があります。地域で切るなどの対策をしていますが、抜本的な対策が必要と考えます。

A 柳の木は枝の伸びが早く、1度切ってもすぐに伸びてくる現状があります。冬期の失業対策事業で対応する等の根こそぎでの処理を考えたい。また、更に良い方法がないか研究させて欲しい。

商工費



道の駅での食事施設の必要性。

Q 現在の道の駅では軽食すらとれない。今後必要では？

A 食事施設を作ることによって町の中がさびれていくという例もあります。また、商工会との関連、多額の予算も必要となります。今のところ差し迫った状況ではないと考えます。

かんの温泉の状況。

Q 閉鎖中のかんの温泉に対する町の考えは？

A 町にとっても重要な観光資源。適正に対応します。

商工費



旧北電施設の利用は。

Q 町に譲渡された然別湖西岸の旧北電施設の利用の考え方は？

A 然別湖周辺のインフォメーションセンターや白雲山等の登山口に位置するため登山者の安全確保機能、更にはジオパークの拠点ということも考えられます。町が協力しつつ民間にお任せするという事を考えています。

農林費



バイオのハウス施設栽培。

Q バイオガスプラント熱利用のハウス栽培について、もう一歩踏み込んだ利用ができないか？

A 現在ハウスを育苗ハウスとして利用。更に2棟目のハウスを計画中。1棟でさつまいも、もう1棟で新規作物を考えています。

大雨による農地被害対策は？

Q 大雨による農地被害の調査、対策は？

A 農地の整備については道営事業で計画的に行っています。今回の大雨の被害では公共的な部分で判明している所から緊急対応したい。

総務費



対策本部の設置が早くできなかったか？

Q 台風12号の大雨による対策本部が午前2時30分に設置。もう少し早い対応は？

A 大雨に対しては早い段階で対応しています。対策本部を作る作らないにかかわらず対応を実施していますが、今後は更に早い対応を心がけます。

総務費



旧西原研究所跡地の利用は？

Q 町が取得した旧西原研究所跡地の今後の利用方法は？また、備品の保管状況と利用、処分についての考えは？

A 現地の確認も実施しており、今後更に検討をします。備品については、使用できるもの廃棄すべきもの等の区分けを行います。



瓜幕のPG場の整備状況は？

Q 瓜幕ライディングパーク内の2つ目のパークゴルフ場の整備状況は？

A 全長750m、18ホール、パー66のショートコースを整備中。芝の状況を確認していますが、来年度から本格的な使用ができます。

町内の空家の状況は？

Q 町内の空家の状況と環境整備されていない家屋などへの勧告の状況は？

A 随時町内の空家の状況を調査しています。勧告については4件実施しています。個々に対処し、強く改善も要望しています。



花と芝生のまちづくり。

Q 花と芝生のまちづくりが10年経過し、実質的に携わる人が高齢化を迎えています。先進地のヨーロッパに学ぶなど新たな展開が必要と考えますが？

A 花と芝生のまちづくりでは、一般家庭の方が住宅周辺を花で飾るという基本的な考え方があります。現在、計画が進んでいます。農芸公園を柱として新たなことを考えます。道内の先進地の視察もふまえ、国内、国外最適な視察を検討します。

民生費



幼保一体(元)化は。

Q 少子化、育児サービスの多様化に伴う、幼稚園と保育所の一体(元)化に対する町の考え方は？

A 国の推移を見守りたい。できるだけ早く方向づけを行います。

決算審査特別委員会のナイター議会を傍聴してみよう



新町1 田中 稔さん

雑木の枝も砕いて出す必要があるというゴミの堆肥化の話や、子宮けい癌ワクチンの接種率など町民目線の質問が多く、聞いている議員も、また回答する町の職員も一生懸命さが伝わって来ました。町民の方にもっと議会傍聴に足を運んで欲しいですね。



緑町2 西垣 恵美子さん

いつも女性団体で一般質問を見に来るのですが、勉強のためと思いついて決算委員会に来ました。進行する委員長が副議長だったり初めて見ることでびっくりしました。ちょっと参加者が少なかつたのが残念でした。決算の資料を見ましたが、難しかったですね。



地域振興対策で8千6百万円の補正予算

平成22年度決算に1億7千497万円の繰越金が出たことにより、町民生活の改善、課題・懸案事項を中心に繰越金を財源とした地域振興対策として8千6百万円を含む総計1億5千263万円の大型の補正予算が組まれました。

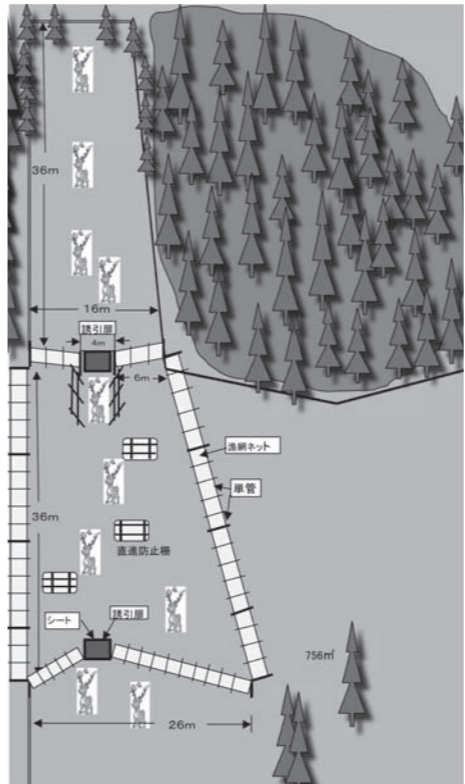
補正予算

エゾシカ捕獲用の

囲いわな設置

190万円

今後も増加が見込まれるエゾシカの個体数を減らし、被害を軽減するため、一斉捕獲が可能な囲いわなを設置し、効果や有効性を確認しながら駆除をします。



今年の秋に町営牧場サラウンナイ牧場に設置し、来年春からの捕獲を予定しています。



新規作物の研究 ハウスなど設置

1427万円

バイオガスパラントの熱エネルギーを有効利用し、新規作物などの試験栽培を実施するため、2棟目のビニールハウスを設置します。



1棟目のバイオ・ビニールハウス

暮らし応援 商品券事業助成

2000万円

地域経済活性化と更なる鹿追町民のくらしを応援する25パーセント割増しの「活き生き商品券」7千セットの発行に1千820万円と、商工会主催の年末大売出し「生活・応援セール」に180万円の助成をします。



活き生き商品券 (2009年)

放射線量測定器購入

52万円

町内で生産される農畜産物のγ線の測定を行い、安心・安全な農畜産物であることを確認します。γ線が測定できることにより、セシウム及びヨウ素の測定が可能です。

意見書提出

委員会発議で 意見書を国に提出

軽油引取税等に関する意見書

農業用の機械等に使用する軽油については、一定の手続きを受け、軽油引取税を免除するという制度が平成24年3月31日まで継続されます。

しかし、その後の国の対策が不透明であることから、鹿追町農民団体連合会（上嶋誠一会長）と鹿追町農業協同組合（佐藤雅仁組合長）から軽油引取税の免税措置の恒久化について請願があり、産業厚生常任委員会では審査を行い「基幹産業である農業及び地域経済を守るため」との理由から採択、内閣総理大臣ら関係大臣に意見書を提出しました。



読書フェスティバル INしかおい

23万円

絵本や家庭での読書を通じて子どもへの読書を普及するため、ボランティアによる実行委員会が主体となり「読書フェスティバルINしかおい」の開催を計画。その一部23万円を追加しました。フェスティバルでは、「パパはウルトラセブン」などの絵本作家宮西達也さんの講演会や大谷短期大学生と図書館ボランティアによる演劇の鑑賞会などが計画されています。

公共施設バリアフリー

294万円

地域集会所などの公共施設に手すりを取り付けるなどバリアフリー化をします。



町立病院のバリアフリー (工事中)

災害復旧

4892万円

台風12号などの大雨による災害復旧費として、道路橋梁災害復旧費 4千162万円
農地等災害復旧費 660万円
その他公共公用施設災害復旧費 70万円
が追加補正されました。

公民館のテーブルと イスを購入

581万円

町内の公民館分館で老朽化したテーブル・イスについて希望をとりまとめ、テーブル99台、イス297脚を更新します。

学校教室用網戸設置

647万円

蜂の侵入を阻止するため上幌内小（既設）をのぞく6小中学校の教室の半分窓、全345枚分の窓に網戸を設置します。



【軽油引取税】

軽油引取税は道路整備に使用する目的税。特に政策的配慮から課税免除することが適当と認められる特定の用途（法律で決められたもの）に限っては、知事の承認により課税免除が認められていました。平成21年度の税制改正により、軽油引取税が目的税から普通税に移行され、課税免除については、平成24年3月31日までの特例措置となっています。



4人の 議員が 町政を問う。

安藤 幹夫議員

ジオパーク設立にむけての考えは



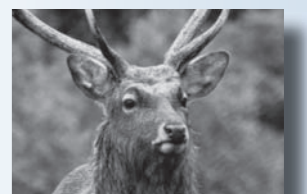
台蔵 征一議員

国道・道道の道路の草刈り、年に1度度りでは安全な維持管理とは思えません!



飯沼 新吾議員

更なる鳥獣被害対策を



上嶋 和志議員

民間賃貸住宅に対する家賃補助制度について



Q ジオパーク設立にむけての考えは。

A 指定にむけて努力したい。



安藤幹夫議員

認定に向けて国際的、国内的な運動をおし進めることが必要と考えます。

ジオパークは自然遺産を保護しつつ、それを教育、観光に活用しているところに着目するものです。

次の2項目について質問します。

(質問) 本町は然別湖を中心とした観光、教育を推進しています。学校教育に自然と生態系をテーマとした地球学を取り入れており、未来をにう子供たちの育成を目的に、本町の自然遺産である然別湖を科学教育、防災教育の場としてジオパークの



(答弁) 吉田町長

町では、2月に「ジオパーク学習会」を開催し、ジオ(地球、大地)にかかわる様々な自然財産、地層、岩石、地形、断層など自然公園に関する学習を行っています。

ジオパークは自然遺産を保全しつつ、教育、研究、観光に活用するものであり、自然遺産の価値と活用、活動を行う人と運営組織が認定評価において重要視されます。

1、指定を受けることは本町の経済、観光の面で大きなメリットがあると考えられ、本町の一貫教育で取り組んでいる地球学の理念とも合致し、大きく町の強みになると認識しています。

2、公的機関、地域社会、民間団体等による運営組織と財政計画が求められ、組織体制の検討が必要です。

ボランティア育成の素地もあると認識しており、団塊世代以降の人々が定年をむかえる中、こうした人的資源を活用し、訪れる人々のニーズに合った専門的な知識を持ったガイドを育成します。

ぜひともこの指定に向けて努力したいと考えます。

Q 国道の草刈りを増やし、安全できれいな道路管理を。

A 国に対し、道路の交換管理を提案したい。



台蔵征一議員

発局の全国基準などについて、交通安全や道路維持管理の問題点を尋ねます。

国、道に対し改善がはかられるよう要請すると同時に管理のあり方について、国に道路の交換管理を提案します。



(答弁) 吉田町長
キツネの箱わなを稼働させるため、箱わな所有者を訪問し自衛対策の重要性とキツネのエサとなるようなものを放置しないよう説明し、継続をお願いしています。

(質問) エゾシカの捕獲後の搬出と処理方法は。

(答弁) 吉田町長

猟友会に委託をし、パトロールと駆除を実施。今年度は町営牧場サラウンドナイ牧区内に移動可能な囲いなどを設置します。駆除したエゾシカは今後、各振興局ごとに処理施設の設置を要望していきたい。

Q 更なる鳥獣被害対策を。

A 今後も更なる対策が必要。



飯沼新吾議員

(質問) 鳥獣被害対策は計画をたて進めています。近年エゾシカの増加やアライグマの生息も確認されており、これらによるサルモネラ菌やエキノコックス等の媒介が心配されます。

今後の対策を尋ねます。



(質問) 自衛防疫の啓蒙は。

(質問) 札幌圏と結ばれる道東道は10月29日に全線開通となります。接続する国道274号線は整備改良工事もすすめられ、物流、観光、生活の重要路線です。町の観光パンフレットにも「美しい農村景観と花のある国道274の街」として、道の駅や観光スポット、ビューポイントが紹介されています。

町道は、地域、各団体、町が協働して時期ごとの草刈りをするなどして交通安全と景観の維持につとめています。しかし、国道は道路の法面に伸び放題の雑草が茂っています。管理する開

(質問) 鳥獣被害対策は計画をたて進めています。近年エゾシカの増加やアライグマの生息も確認されており、これらによるサルモネラ菌やエキノコックス等の媒介が心配されます。

(質問) 自衛防疫の啓蒙は。



Q 民間賃貸住宅に対する家賃補助制度の創設を。

A 一定の条件のもと、助成は必要。



上嶋和志議員

いうことは、難しいと思われまので民間への町の補助制度は、大変有効と考えます。
しかし、公営住宅に対して民間賃貸住宅の家賃は、高い傾向にあります。そのギャップを少しでも埋めるため、民間賃貸住宅に対する家賃補助制度を検討してみたいかがでしょうか。

(答弁) 吉田町長

本年三月に策定した鹿追町住生活基本計画及び鹿追町公営住宅等長寿命化計画に記載の通り、本町の住まい、住環境については、十勝管内での比較において、公営住宅や給与住宅の比率が高く、一方で民間借家や持ち家の比率が低い状況です。

町内定住人口の増加に向けた受け皿としては、公営住宅だけに依存しない、民間活力による賃貸住宅の充

実が不可欠と考えます。町の建設奨励制度は、今年度限りの措置となっておりますが、必要な見直しを行い新年度から継続実施します。
民間賃貸住宅の家賃については、高いと認識しています。定住促進に向けた政策的支援として一定の条件に該当する方については、家賃助成の必要性があると思います。



議会の
傍聴に、
来ませんか。

12月の定例会は12月7日から20日の日程で開催が予定されています。14日午前10時から一般質問を予定しています。この機会に議会の傍聴に来てみませんか。詳細は役場議会事務局まで66-4039。

第2回 まちなか会議 およばれ懇談会

商工会と懇談を実施

新年度から施行されました議会基本条例に基づく「まちなか会議」が町商工会関係者との間で9月5日におこなわれました。
当日は8人の議員が商工



会役員15人と活発な意見交換をおこないました。

議会からは、議会基本条例の施行にともない定例議会の報告会を鹿追・瓜幕の2会場で開催した事や、政務調査費を使った政策研修に取り組んでいる等の報告を行いました。

商工会役員からは、プレミアム商品券の発行による町の活性化や国・道の発注工事に対する地元事業者の参入、クテクウシ川の安全対策などの要望、意見があり、持ち帰って検討する事案等、今後の議会活動に反映させる内容も多く、たいへん意義の多い会議でした。

今後、「まちなか会議」では今回の「およばれ懇談会」や各委員会が出向く「出前委員会」など様々な形で町民の方々と接する機会を増やしたいと考えています。
どんな少人数でもよろしいですから議会に声をかけてください。

第三者審議会

**5人の審議員で
本格活動**

鹿追町議会基本条例に基づく「鹿追町議会議員定数・報酬及びあり方等審議会」(第三者審議会)の審議員5人が決定し、埴淵議長より9月9日辞令書が手渡されました。
第三者審議会では、議員の定数・報酬はもちろん鹿

追独自の議会活動のあり方や、議会システムにいたるまで多様な案件を議長の諮問に応じ審議をおこないます。
委員は、
安藤輝雄さん
國島新一さん
田中光広さん
佐々木咲子さん
白川悦子さん
会長には審議会の互選で安藤輝雄さん、会長職務代理者には國島新一さんが選ばれました。



議会からのおしらせ



つぶやき

■たび重なる政治家の不適切な発言。国民、住民の目線で考えれば出て来るはずのない言葉。住民生活に目を配り、理解しやすい言葉で語りたい。

鹿追町議会基本条例に定めた「まちなか会議」の一環として、平成23年9月定例議会の報告会を10月11日に、鹿追町議会議場と瓜幕のウリマツクホールの2カ所で行いました。議会報告会としては、6月定例議会に引き続き2回目の開催で、様々な質疑・意見が寄せられました。

「第4回まちなか会議」

議会公報出口会 2nd

一般質問の内容に関心が寄せられています。

鹿追会場6人・瓜幕会場7人



鹿追地域の議会報告会

町議会本会議場で

行われた議会報告会

議会広報広聴常任委員会が主催する鹿追会場での議会報告会は午後6時半より役場3階の議場を使っておこなわれました。

町民の参加は6名と少数でしたが、それぞれ日頃より町政に関心を持たれている人たちでしたので活発な質疑がおこなわれました。

議員それぞれが報告会ごとに役割を交代するということで、第2回目の今回は飯沼議員が司会担当をし、埴淵議員のあいさつのあと、説明員の山岸議員より9月定例会の内容と平成22年度の決算の内容を会場で配布した資料に沿って説明

しました。参加された皆さんから補正予算の内容や、決算についての質問が出されそれぞれ議員が交代で回答しました。

おもな質問や意見は、次のとおりです。

Q 一般質問のあり方とその対応は？

A 一般質問は、議員個人が町政のいろいろな問題について、行政の執行機関に質問することです。それぞれの案件によって異なりますが、行政側が必要と認めれば政策として議会に提案されますし、議会側でも議会の総意として取り組む事例もあります。

Q 一般質問にあった道路の交換管理とは？

A 国道、道道は国や北海道が管理していますが、町道は町が維持管理しています。

ウリマツクホールで

行われた議会報告会

瓜幕会場は7人の地域の方が集まりました。

川染副議長、安藤議員、狩野議員、台蔵議員、武藤議員の5人で司会、報告、記録など役割を分担して進めました。

9月定例議会の内容と平成22年度決算をまとめた資

料にそって説明されました。

おもな質問や意見は、次のとおりです。

Q バイオガスピラントの視察が増えていると聞く、資料代を見学者からも

らうべきでは？

A 新しい資料の作成を進



瓜幕地域の議会報告会

Q 台風12号、15号の影響で馬の道が通れないところがあるので現場を見て対応してほしい。

A 被害の状況を確認して対応を協議します。

Q 9年にわたり実践してきた小・中・高一貫教育の成果、実績をだすべきでは？

A 教育委員会をはじめ関係部署に伝えます。

Q 道の駅や観光案内の拡充について議会と関係者の懇談の場が欲しい。

A 委員会で対応します。また、議員は一般質問をすべきだ。一般質問は、議員と町長との政策議論の場であり、質問者が増える

と傍聴者が増える」などの意見もだされました。

報告会の告知をもっと、もっと

東瓜幕 畑 久雄さん

議会報告会の開催について住民にもっと、もっとピーアールしてもらいたい。そうすることで議会と住民がより近くなると考えます。



つぶやき

■ TPP 交渉参加問題 11月結論か。にわかに動き出した。日本農業、取り分け北海道農業への打撃は必至！国民的議論がないまま進められる事に不満。





豊かな実りを 全国に届けます。

◇熟年会◇



熟年会副会長 脇坂 靖さん

(取材・インタビュー) 狩野 正雄

会員が協力して、ふるさと農園で収穫した紅白じゃが(農林1号と紅丸)のセットを全国に発送しています。手続きはお届け先を記入するだけ、どうぞご利用下さい。

9月の台風・大雨の影響で収穫作業に遅れがありました。2年ぶりに開催された9月25日の産業まつりは晴天に恵まれ、多くの来場者で賑わい、鹿追の農産物もたくさん売り場に並びました。
その中でも、町内の農業経験者の会である熟年会の人たちの作ったじゃがいも、きのこ、玉ねぎ、かぼちゃなどは大好評。「農の匠」たちの農産物は、毎回売り切れが続出です。

浅草より杉林仁一氏来町

◇浅草との交流を探る◇



7代目新門辰五郎 杉林仁一氏

(取材・インタビュー) 加納 茂

鹿追神輿会との交流は16年になり、もうすでに仲間であり親しみを感じています。台東区との姉妹提携はあせらず、長いお付き合いを目指してください。

かねてより鹿追神輿会との交流がある浅草三社祭の宮頭杉林仁一氏が鹿追の祭りにあわせて来町されました。杉林氏はかねてより鹿追と東京都台東区の交流の橋渡しとしてご尽力をいただいております。現在、町が進めている台東区との姉妹提携に力強い助言をいただいています。今後、台東区との協定が結ぶことを期待します。

編集後記

今回の議会だよりは、9月の定例会と決算審査特別委員会が中心です。わかりやすく議員の動きが伝わるよう心がけました。新モニターさんも決まり2年の任期でアドバイスをいただくこととなりました。

第1回のモニター会議で、「読まれる広報紙とは？」の私の問いに「前提に議員が身近であること」という声があり、きわめて重たく感じました。

(広報副部長 武藤 敦則)

議会広報広聴常任委員会 広報部会

- 部会長 狩野 正雄
- 副部会長 武藤 敦則
- 部会員 加納 茂
- 上嶋 和志
- 山岸 宏